

ガソリン・ボーイ三人組 (1931)

DIE DREI VON DER TANKSTELLE

メディア 映画

ジャンル ロマン스 コメディ ミュージカル

製作国 ドイツ

色彩 B&W

時間 80分

初公開日 1932/03

公開情報 劇場公開

【解説】

戦前ドイツ・トーキーの代名詞、オペレッタ映画の先駆作。突然破産しても楽天的な青年三人組が車を売った金でガソリン・スタンドを買い、そこへしょっちゅう給油に来る愛らしい娘リリアン（L・ハーヴェイ）にみんなして惚れてしまう。娘はやもめの父親の恋人の入れ知恵で、結果彼らの心をかき乱すが、最後は予定調和的に最もハンサムな青年ヴィリ（W・フリッチュ）と結ばれ、ついで、父たちも大団円を迎える。旅から戻ると家財一式さし押さえ、それでも債権人と共に唄い踊る（チープだが最高に笑える特撮を含む）三人たちの暢気さには呆れてしまった。

【クレジット】

監督	ヴィルヘルム・ティーレ	Wilhelm Thiele
音楽	フランツ・グローテ	Franz Grothe
	ウェルナー・リヒャルト・ハイマン	Werner Richard Heymann
出演	リリアン・ハーヴェイ	Lilian Harvey
	ヴィリー・フリッチ	Willy Fritsch
	フリッツ・カンパー	Fritz Kampers
	オルガ・チェホワ	Olga Tschechowa
	ハインツ・リューマン	Heinz Ruhmann
	オスカー・カールウェイズ	Oskar Karlweis
	クルト・ゲロン	Kurt Gerron